

API利用規約の検討状況／検討方針について

作業概要及びタイムライン

オープンAPI利用規約ひな形作成作業内容

仕様書より

5) 「オープンAPI利用規約の条文例・解説」の取りまとめ業務支援

事業検討委員会、各WGにおける農機データの活用場面を踏まえたAPIの取扱いのルールのあり方に係る協議結果を踏まえ、農機メーカーがオープンAPIの実装時に活用可能な利用規約の条文例・解説を取りまとめる。なお、取りまとめに当たっては、以下の点に考慮の上、コンソーシアム事務局の他、コンソーシアム構成員への確認・合意を得ることとする。

- ① 契約の当事者である農機メーカー、ICTベンダー等への聞き取り調査を行い、双方の意見を踏まえた論点整理を行った上で作成に取り組むこと（想定される論点の例：農業者の個人情報や知的財産権の取扱い、データの不正な取得等に起因するノウハウの流出、データ連携ができなくなった際の責任の所在の明確化など）。
- ② 銀行業界（フィンテック）や海外農機等の先行事例についても調査・分析し、必要に応じて仕様書案に反映させること。
- ③ 「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン（令和2年3月、農林水産省）」や「農業分野におけるオープンAPI整備に関するガイドラインver.10（令和3年2月、農林水産省）」等の関連指針の記載内容を十分に踏まえること。
- ④ 本事業の実施要綱を踏まえ、オープンAPIの主要な提供先と見込まれる「農業データ連携基盤」（WAGRI）を介した場合の条文例・解説も作成すること。
- ⑤ 作成した条文例・解説については、弁護士と相談の上、法律的な観点での妥当性についても確認すること。

現状のご報告

API先行事例調査結果概要

先行事例調査の結果（現時点）は以下の通りです

農機系API

- 海外においては、西オーストラリア州政府 The Department of Primary Industries and Regional Developmentが、保有するデータをAPIを介して公開しており、当該APIに係る利用規約が公表されている（<https://www.agric.wa.gov.au/apis/api-terms-and-conditions>）。

銀行API

- 全銀協APIひな形
 - 2018年7月6日に初版公開（同年12月27日改訂）
- Fintech協会APIひな形

その他API

- LINE
 - LINE公式アカウントサービスのAPI利用規約
- BASE
 - BASEサービスのAPI利用規約
- マネーフォワードクラウド
 - マネーフォワードクラウドのサービスのAPI利用規約

